

第5回戦略会議レポート 2020/1/28 みなかみ町

観光センター



雪国観光圏の理念

『100年後も雪国であるために』

ひとつずつでは埋もれてしまう地域資源を発掘し、つなぎ合わせ、磨き上げることで世界に通用する価値を生み出す。

雪国観光圏のブランドコンセプト

『真白き世界に隠された知恵に出会う』

議題 各WGから進捗報告

【雪国文化研究WG(細矢MG)】

・湯沢町公民館にてシンポジウム開催。2020年2月28日
新潟大学澤村教授の講演「観光における文化財活用」、パネルディスカッションは「雪国文化に触れる旅ー歩く・学ぶ・知るー」で澤村教授・井口代表・津南町と魚沼市の教育委員会より各1名、コーディネーターはフジノ氏。



【食文化WG(岩佐座長)】

・多言語ガイドアプリ「ON THE TRIP」連携事業。(4言語展開)
・雪国A級グルメ店店舗間のコラボイベント。料理通信君島編集主幹にもおいでいただき盛況。今後も広がり期待できる。
・ローカルガストロミー協会設立。年会費を雪国観光圏内外で2段階に設定。サポーター制度も用意。ご協力を。



【スノーカントリーレイルWG(南雲部長)】

信越トレイルが苗場山に伸びるので連携を深めたい。

【観光協会連携WG(深津座長)】

・各地の着地型イベントや旅行商品を共有ファイルに入れて各窓口において案内する。
・情報を集約しイベントカレンダーを作成。現在は窓口での活用だが、今後事前に診てもらえる工夫を行う。

【ブランドWG(ブランドマネージャーフジノ氏)】

・4月発行の春号企画及び年間テーマについて検討。
・2020年は雪国ならではの過ごし方について。重要なガイドの役割として各分野の達人と達人をコーディネートするガイドにわけ、通常の旅行ではできない人間関係を軸に地域を体験するような滞在プログラムを提供していく。

議題 国民文化祭 湯沢魚沼エリア コーディネーター業務報告

第34回国民文化祭・いがた2019、第19回全国障害者芸術・文化祭にいがた大会が2019年9月15日から11月30日の77日間、新潟県全域で開催された。

湯沢・魚沼エリアではテーマを「雪国文化博覧会～真白き世界に隠された知恵と出会う～」として、厳しい雪国の暮らしから生まれた知恵や工夫を文化と捉え、発信する事業を展開した。

・林修氏による“北越雪譜”をテーマにした番組制作、放送、および林氏の講演会を開催。
・雪国の料理教室や雪国文化を学ぶワークショップを開催し、体験しながら雪国文化に触れる事業を展開。



業務内容

- ①アドバイザー業務
- ②集客協力業務

業務詳細

- 週間県政ナビへの出演対応(4月25日)
(松之山温泉の柳氏がナビゲーターとして出演)
- 新潟プレミアムサロンブース出展(8月19日)
(ネスパスで観光圏として出展協力)
- 雪国文化パンフレットへの編集協力、観光圏内の小学校に教育委員会を通じて配布。
- 関係者との橋渡し

雪国観光圏トピックス

■観光地域づくりマネージャー2名誕生

- ・NPO法人 越後妻有里山協働機構 浅井忠博氏
- ・(一社)みなかみ町観光協会 木村 崇利氏

■戦略会議について

- ・新年度より戦略会議冒頭に勉強会を行う。

■十日町・里山協働機構コラボのワーキング

- ・50万人を超える大地の芸術祭を知り、津南十日町だけでなく圏域全体で利用して頂く仕組みづくりを行う。

雪国観光圏内イベント・お知らせ

■魚沼市

- ・宿泊者限定、魚沼冬の体験ツアー開催。雪中花水祝いの儀見学、折立百八灯まつり見学、目黒邸雪灯籠と須原スノーカーニバル見学、永林寺座禅体験、朝の座禅体験、永林寺涅槃会、魚沼雪遊びライナーなど。

■みなかみ町

- かがよふあかり竹灯籠
2020年1月25日～2月9日
藁アートとコラボし3か所で展示。



情報提供。質疑その他

■ナイトツーリズムについて:フジノ氏

- ・国の動きとして次年度スノーとナイトツーリズムに予算が付くと予想される。インバウンドニーズが大きい地域としてナイトツーリズムが非常に弱い。アフタースキーの過ごし方の提案強化で日帰り客を泊らせる努力を。

■ガストロミー協会、多言語案内アプリの他エリアへの広がりについて みなかみ観光協会→岩佐座長

- ・新潟県の補助事業としてスタート、今後雪国A級グルメが多くの加盟店に登録していただき会費や企業協賛をいかにあつめるかが課題で、追々エリアを新潟県だけではなく広げていきたいと考える。

■インバウンド向け英語版ブランディングブック

- ・ガストロミーBOOKに続く、スノー&ジャーニー雪国文化編を4月に販売予定。

■商工中金イネーブラー事業の紹介

- ・いくつかのプロジェクトの中で旅館・観光業の価値創出支援を行っている。全国で事例を積み上げている。業界再生や老朽化対策等を通じた地域観光再生の事例も資料に掲載してあるので確認を。



2019年 雪国観光圏の成果 * 井口代表理事・岩佐座長の想い

■井口代表理事:2019年は今まで行ってきたことの成果が見えた年。

- ・DESTINATIONキャンペーン(日本海美食旅):ガストロミーは観光圏で5~6年前から取り組んできた内容。DCの目的は単に集客ではなく、地域がテーマに向かって一緒になって取り組むこと。
 - ・サクサクオリティ:雪国観光圏でスタートした品質認証が新潟県全域に広がり参画施設も増えた。
 - ・国民文化祭:テーマは雪国文化。ガイドブックを作り小学生に配布し理解を深めた。
 - ・インバウンド:外国人旅行者に雪国文化を紹介するガイドブックを作成。
 - ・文化と観光の繋がりについては8年前から取り組んでいること。
- 以上をふまえて、各市町村や観光協会などでどう具現化し、個々の事業とリンクさせていくのか知恵を絞ってほしい。

■岩佐座長:観光圏をサステナブルにするために必要なことについて考える。DMOは稼ぐ組織と言われるが、それが正解なのか。まず広域連携を行うことが重要なのではないかと思う。

- ・DCはきっかけ。雪国の食文化、レストラン棟のレベルが上がり始めた。2020年ミシュランが新潟で発行する。県単独でのミシュランは初で、DCがありミシュランがあり、新潟が食の都としてのブランド価値が上がってきた。
- ・DCは各地で若手行政係長中心のエリアミーティングを行ってきた。今後も継続し、資源を磨き上げてほしい。

*次回戦略会議は3月1日(月)六日町温泉ryugonにて13時30分より開催。

連絡先:湯沢町役場産業観光部
新潟県南魚沼郡湯沢町大字神立300番地
TEL025-784-4850 FAX025-784-3582